

## 新エネルギー発電設備事故対応・構造強度

### ワーキンググループ（第25回）－議事要旨

日時：令和2年12月15日（火）15：30～17：00

場所：S k y p e開催

#### 出席者：

##### <委員>

前田座長、青木委員、石原委員、植田委員、貝塚委員、河井委員、熊田委員、西尾委員、弘津委員、山本委員（五十音順）

##### <オブザーバー>

伊賀川 一般社団法人住宅生産団体連合会 調査部長  
久保 一般社団法人日本小形風力発電協会 副理事長  
柴田 一般社団法人日本風力発電協会 技術部長  
鈴木 一般社団法人太陽光発電協会 事務局長

#### 議題：

- （1）番屋（ばんや）風力発電所のブレード折損事故に関する報告について
- （2）風車ブレードの点検・補修指針策定に関する検討状況について

#### 議事概要：

- （1）番屋（ばんや）風力発電所のブレード折損事故に関する報告について
  - 株式会社鹿児島風力発電研究所から、資料1に基づき、委員からの指摘事項に対する回答、事故の原因、再発防止対策、再稼働について報告があった。
  - 具体的には、
    - ・①落雷によりブレード破損後、補修を実施できないまま台風の被害を受けたこと、②レセプターに受雷しなかったことが主な原因であることを踏まえ、再発防止対策として、落雷の補足率を向上させる設備対策を全ての号機に対して台風シーズン前の5月末までに実施する。
    - ・台風シーズン前に設備対策を完了させること、落雷等に対する保安停止、保守点検等の安全対策を行うことを条件に設備対策完了前の再稼働を認めてほしい。との報告があった。
  - これについて、委員から了承が得られ、本件については本報告をもって、審議を終了した。

(2) 風車ブレードの点検・補修指針策定に関する検討状況について

- 一般社団法人日本風力発電協会（以下「JWPA」という。）より、資料2に基づき風車ブレードにおける点検・補修指針作成状況の報告がされた。
  - 委員からは、様々なメーカーや事業者がいる中で重要な取組みであり、評価ができるといった意見があった。また、今後検討を進める中で、技術的な判定を具体的かつ確実にを行うための対応フローを整理することや、本検討において、事業者の安全に対する姿勢が重要であるため、作成後の運用が機能するためにも、水平展開について検討をされたいとの意見があり、JWPAは今後、ブラッシュアップを行い、とりまとめを実施する予定と回答した。
- 最後に、電力安全課から本検討についての議論は制度WGで進めていき、本WGの中で引き続きご報告をさせていただくと申し添えた。

次回ワーキンググループは、改めて調整させていただく旨を連絡し、閉会。

**問い合わせ先：**

経済産業省産業保安グループ電力安全課

電話　：03-3501-1742

FAX　：03-3580-8486